地方独立行政法人玉野医療センター
令和5年度の業務実績に関する評価結果

令和6年7月
玉野市

項目別評価 評価の基準

(地方独立行政法人玉野医療センター業務実績評価に係る実施要領より)

[小項目評価基準]

- 「5」：年度計画を大幅に上回って実施している。
- 「4」：年度計画を上回って実施している。
- 「3」：年度計画どおりに実施している。
- 「2」：年度計画を下回っている。
- 「1」：年度計画を大幅に下回っている、又は実施できていない。

[大項目評価基準]

- 「S」：中期目標・中期計画の実現に向けて著しく進捗している。
(小項目評価の平均点が4.5以上)
- 「A」：中期目標・中期計画の実現に向けて順調に進捗している。
(小項目評価の平均点が3.5以上4.5未満)
- 「B」：中期目標・中期計画の実現に向けておおむね順調に進捗している。
(小項目評価の平均点が2.5以上3.5未満)
- 「C」：中期目標・中期計画の実現のためにはやや遅れている。
(小項目評価の平均点が1.5以上2.5未満)
- 「D」：中期目標・中期計画の実現から大幅に遅れている。
(小項目評価の平均点が1.5未満)

地方独立行政法人玉野医療センター業務実績に関する評価結果

1. 全体評価

令和5年度の業務実績に関する評価結果は、「中期目標・中期計画の実現に向けておおむね順調に進捗している。」と評価する。

2. 評価の判断理由

第2から第5までの全ての大項目で評価結果を「B」とし、中期目標・中期計画の実現に向けて順調に進捗していると判断した。

大項目	評価
第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	B
第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項	B
第4 財務内容の改善に関する事項	B
第5 その他業務運営に関する重要事項	B

3. 評価にあたり考慮した事項

全体の評価にあたり特に考慮した事項は以下のとおりである。

- ① 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、コロナ禍の影響は病院の運営面に影響を引き続き与えているため、目標値の達成や事業の実施にあたり一定の考慮をしたうえで評価を行っている。
- ② 新型コロナウイルス感染症への対応では市内で唯一の感染症確保病床を有するとともに、ワクチン接種においても公的病院として役割を果たしている。
- ③ 医師会との関係構築のため毎月の協議に参画するとともに、医療連携の具体的な取組みとして紹介率、逆紹介率の向上を企図して地域の医療機関に広報活動を実施している。
- ④ 休日当番医やワクチン接種などの行政施策との連携においても、地域の医療機関と役割分担を行ったうえで、中心的な役割を担っている。
- ⑤ 新型コロナウイルス確保病床の補助金収入が制度改正により令和5年10月からなくなったものの、救急医療受入の強化や地域の医療機関との患者の紹介・逆紹介を推進する取り組みに努めた結果、黒字を確保した。
- ⑥ 一部の事務部門の職員において長時間の超過勤務が発生している問題については、法人設立時の令和3年度から指摘が続いており、監事指摘のとおりコンプライアンス違反が是正されていない状態となっているため、早急な対策が必要である。

4. 全体評価にあたっての意見、指摘等

評価委員会でいただいた意見を踏まえて追記・修正

2. 項目別評価

(1) 大項目評価

第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

小項目		評価
1 担うべき医療提供体制	(1) 救急医療	3
	(2) 小児・周産期医療	4
	(3) リハビリテーション医療	3
	(4) 検診・予防医療	3
	(5) 在宅医療	3
	(6) 災害医療	3
	(7) 新たな感染症への対応	4
2 医療の質の向上	(1) 地域医療への貢献	4
	(2) 相乗効果の発揮	3
	(3) チーム医療の実施	3
	(4) 医療従事者の確保及び育成	4
	(5) 調査・研究・治験への取り組み	3
3 患者サービスの向上	(1) 患者中心の医療の提供	3
	(2) 地域との交流	3
	(3) 医療安全対策	4
	(4) 積極的な情報発信	3
	(5) コンプライアンスの徹底	2
4 医療機関との連携		3
5 関係機関との連携	(1) 行政機関との連携	3
	(2) 医師会等との連携	3
	(3) 教育機関との連携	3
平均		3.1

評価結果 B

判断理由

小項目21項目中20項目で3以上の評価とし、中期目標・中期計画の実現に向けて順調な進捗状況であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

評価にあたり考慮した事項

法人による2病院での運営体制が3年目となる令和5年度は、断らない医療の実践

への取り組みにより、救急医療については、受入件数が増加となったことから地域の救急医療への対応が進むとともに、地域の医療機関との連携については、患者の紹介・逆紹介を推進することで、地域包括ケアシステムの実現に努めている。

小児医療については、岡山大学から非常勤の小児科医師2名が新たに派遣されたことで、外来診療体制の充実に寄与した。

また、医療従事者の確保・育成については、医師確保に取り組んだ結果、岡山大学地域卒業の内科医師1名が新たに派遣された。

新病院での統合を見据えて、2病院での職種ごとの人事交流等を実施し、運営面での準備は計画通り進捗している。

評価にあたっての意見、指摘等

評価委員会でいただいた意見を踏まえて追記・修正

第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項

小項目		評価
1 業務運営体制の構築	(1) 運営体制	3
	(2) 管理体制の強化	2
	(3) 外部評価等の活用	3
2 職場環境の整備	(1) 働きやすい職場環境の整備	2
	(2) 職員の職務能力の向上	3
	(3) 効果的な人事・給与制度の構築	3
平均		2.6

評価結果 B

判断理由

小項目6項目中2項目で2としたものの、その他は全て3の評価とし、平均2.6であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

評価にあたり考慮した事項

組織内の人員の配置に関する項目が評価2となっており、2病院体制では業務に対して人員が不足しているものの、新病院への移行後は人員が集約されることから、無計画な採用は控えなければならない状況であったため、法人運営の改善及び効率化に関する体制について内部統制及び内部監査体制の未整備などが課題である。

新病院への移行後には事務部門の人員が一定程度充足することから、法人運営の改善及び効率化に関する体制の強化に向けて検討する必要がある。課題となっている内部統制と内部監査については、業務の効率化の検討や財務報告の信頼性の確保に取り組んでいるものの、コンプライアンスの実効性を得るために、早期の体制の整備が求められる。

評価にあたっての意見、指摘等

評価委員会でいただいた意見を踏まえて追記・修正

第4 財務内容の改善に関する事項

小項目		評価	
1	経営基盤の確立	3	
2	収入の確保と経費の節減	(1) 収入の確保	3
		(2) 経費の節減	3
3	運営費負担金	3	
平均		3.0	

評価結果 B

判断理由

小項目4項目中全ての項目で3以上の評価とし、中期目標・中期計画の実現に向けて順調な進捗状況であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

評価にあたり考慮した事項

令和5年度の経営状況としては、新型コロナ関連補助金が前年度比で半減したものの、日勤帯での救急患者受け入れ強化の取り組みや、紹介患者の確実な受け入れ、積極的な逆紹介の推進を地域の医療機関へ広報する取り組みなどにより、入院患者数の増加を図り、公的病院としての役割を遂行した結果、黒字を確保した。

人口減少による長期的な医療需要の縮小や、診療報酬の改定など、医療環境は今後厳しくなると見込まれるが、地域の中核医療機関として持続可能な医療の提供に向けて、効率的な病院運営と安定的な経営基盤の確立へさらなる取り組みが必要となる。

評価にあたっての意見、指摘等

評価委員会でいただいた意見を踏まえて追記・修正

第5 その他業務運営に関する重要事項

小項目	評価
1 新病院の整備	3
2 新病院への移行	3
平均	3.0

評価結果 B

判断理由

小項目2項目中全ての項目を3の評価とし、中期目標・中期計画の実現に向けて順調な進捗状況であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

評価にあたり考慮した事項

令和5年度では、設計委託業者、施工業者等と定期的に協議を行い、必要な機能を損なうことなく費用の圧縮に努めながら、新病院の整備及び移行の準備については計画通り進捗している。

評価にあたっての意見、指摘等

評価委員会でいただいた意見を踏まえて追記・修正